

チツソの態度食違う

寺本知事
厚生次官

第三者機関で話し合い

だった。

上京中だった寺本知事は十一日帰任、水俣病補償をめぐる問題について「厚生省は仲裁機関をつくりたい意向のようだが、厚生省がチツソ会社や互助会に聞いた話と、県が双方から聞いた話とたいぶ食い違ふので、取りあえず文書で確認書を取り、そのうえで改めて協力することになった」と次のように語った。

岡山本次官に伝え、会社、互助会に、この点を文書で確認するよう要望、次官も了承した。

ら、他の公害紛争の模範になるよう解決してほしいと要望してきた。

第三者機関設置を中央とか地方とかに限定したくないというのは、他の公害問題に波紋を広げたくないためとのことだが、政府がせっかくな書と認定したのだから

第三者機関の人選については目下のことろ思い当たらないと返事してきたが、厚生省は省内からもメンバーは出さないし、知事に入ってもうつつもいないとのこと

水俣病補償の第三者機関設置問題について、十日前、厚生省に山本次官をたずね、その性格などをたじた。次官の話では①三十四年の契約は白紙にかえす②第三者機関の決定には従う、つまり仲裁機関である③第三者機関の設置は中央とか、地方とかいわず、その決定内容も水俣病だけに限りたいたいとのことだった。

しかし従来、会社に関いた限りでは④三十四年の契約は白紙にかえさない⑤仲裁ではなく調停である——との意向だったので、この